



【仮設住宅編】

■ご遺族対応

主婦の山川さん。地震による津波の影響で夫が行方不明に。最近死亡届を提出しました。子どもと二人、仮設住宅に引きこもって生活をしています。



相談員：失礼します。（ノックする）

山川さん、こんにちは。生活相談員の村田です。

母 親：はい…どんな御用ですか。

相談員：災害支援で役場の社会福祉協議会で生活相談員としてまわっています。
身近なことでお困りのことがありましたら相談にのりたいと思ってきました。

母 親：どうぞお入り下さい。

（部屋で）

母 親：困っていることはいっぱいあるんだけど、あれもこれも大変で、どうしたらよいのか…

相談員：そうでしたか。

お時間があれば、どんなことが困っているか聞かせてもらえませんか。私たちでお役に立てることがあれば力になりたいので。

母 親：うーん…いろいろ相談したんだけどね、どれもこれも結局、今は打つ手がないと言われてしまって、相談に行くたびにそんな感じだから、もう嫌になってしまって。すっかりあきらめてるんです。（ため息をつく）

相談員：そうだったんですか。

何度も同じ話させてしまうかもしれませんが、お話をきかせてもらえませんか…

母 親：ええ、住宅ローンが残っているんですけど、団体信用保険をかけていなかったんで…

夫が亡くなって、私が払わなきゃいけなくなりました。

家は流れてしまって、相続放棄とか難しいことになっているんです。



相談員：それはいろいろとご苦労されてますね。



母 親：そうなんです。それに、子供も父親がいなくなって、いつも「お父さんがいなくてさびしい」っていうんですよ。私も何と言ってやったらいいかわからなくて、私も突然、夫がいなくなって、辛くて…（泣く）

相談員：大変でしたね。
（傾聴している）



母 親：行方不明だったころから、本当にどうしたらいいのかわからなくて、半年たっても見つからないので、周りとも相談して死亡届は出したんですけど、いろいろと手続きも大変で…

相談員：そうでしたか。

母 親：それから急に体調が悪くなったり、疲れやすくなったり、とても悲しくなって…もう何もする気が起きなくて…せめて子供の御飯だけは何とか作っているんですが…



相談員：お子さんのことも心配されているんですね。

母 親：そうなんです。学校の方には何とか行っていますし、学校の先生も元気にやっているって言うてくれるんですが、本当は悲しい思いをさせているのがわかるので、私がこんな状態だから…もう何もしてやれなくて…（泣く）



相談員：何もやれなくなっても無理もないことですよ。
これだけ大変な体験をされて、その後も必死に生活されてきたんですから…

母 親：（泣く）

相談員：何か手続きで困っていることがあれば私たちの方から役場に取り次いでいこうと思いますが…



母 親：相続とか謄本の書き換えとか、名義の変更とか、いろいろあるんですけど、何が何だかわからなくて…ローンの方もどうしたらいいのかわからなくて、近所の人のお話だとしばらくそのままにしておけ、という人もいますし…

相談員：そうでしたか。

それだけ一度に手続き
があると大変ですよ
ね。

災害支援の相談窓口
に弁護士さんや司法書士
さん、行政書士さん、
税理士さん等がいらっ
しゃっていて、相談にの
ってくれるようですよ。

山川さんのようにお困りな方がそこでいろいろ相談できるようです。
相談されたことがありますか。



母 親：いえ、最近、家からあまり出ないので、よくわかりません。

相談員：いつやっているか書いてあるチラシを今持っていますので…
(チラシをさしだす)

母 親：(チラシを一生懸命見ている)

相談員：こちらに相談にいかれてはいかがですか？
専門家が相談にのってくれるようですよ。

母 親：どうしようかな。

相談員：私たちが役場と相談して、相談日を確認してみましょうか。

母 親：いいんですか。

相談員：もちろんです。相談してみましょう。

母 親：よろしくお願いします。

相談員：それと、だいぶ体調も良くないようですが、もう少し詳しく
聞かせてくれませんか。

母 親：ええ、最近は外に出る元気もなくて、人にも会いたくない
し、いつも部屋で泣いてばかりで…

相談員：そうでしたか。お辛いですね。

母 親：周りには「泣いてても、もう帰ってこないんだから諦めろ」
とか「いつまでもくよくよしないで早く忘れろ」と言われる
んですけど… (泣く)



相談員：そうでしたか。

母 親：だから、何言われるのかと思うと外にも出れなくて…

相談員：ご主人のこと、本当にお辛いことですね。

母 親：…はい…

相談員：体調もすぐれないよう
ですし、保健師さんや
ケアチームの方々が仮
設住宅をまわられてい
るので、少し相談して
みてはどうでしょう
か。

私たちの方でも連絡を
入れておきますので



母 親：以前一回まわられた時があって、お薬を出してもらった時もありました。

相談員：それであれば、また訪問していただくようにしましょうか。
相談センターでも水曜日に相談にのってくれているみたいで
すよ。
こちらに訪問されるより、そちらで相談の方がよければ、
10時から夕方4時まで相談時間ですので、行ってみ
てはいかがですか。
災害後に悩んでいる方やいろいろ困っている方、体調が悪い
方などが相談に行かれていますよ。



母 親：はい。まだ、とても家から出られないので、こちらに来てい
ただくと助かります。
ただ何のお構いもできませんが。

相談員：そのへんは気にされなくてよろしいですよ。
今、電話してみますね。



(電話)

相談員：生活相談員の村田ですけど、仮設住宅にお住まいの山川さん
ですが、いろいろ生活でご苦労されてまして、また体調や心
の健康もすぐれないようです。
保健師さんやケアチームでの訪問をしてもらえないかと思
いまして…



保健師：わかりました。こちらで調整してみますね。明日の午後あたりで、そちらの仮設にケアチームや私たちが巡回する予定なので、その時にお邪魔させていただくのはいかがでしょうか。

相談員：わかりました。また、ご本人にお話ししてみます。
失礼します。

相談員：保健師さんに電話したら、丁度明日が仮設住宅の巡回の日で、ケアチームや保健師さん達がまわられるそうで、午後に伺えればということでしたが、ご都合はいかがですか。

母 親：こちらはずっといるので、大丈夫です。

相談員：それではその方向で調整しますね。

母 親：いろいろ、すみません。

相談員：それとあまり無理されないでくださいね。
だいぶ疲れていらっしゃるようですから。私たちや役場などでお手伝いできることがあると思うので、一緒に相談していきましょう。



母 親：ありがとうございます。
一人で部屋に引きこもっていて、悪いことばかり考えてしまっていたので、お話を聞いてもらって少し気持ちが安心しました。

相談員：誰にも話せなくて、お辛かったようですし、これからも私たちにもお話してくれて構わないですよ。
話を聴くだけしかできないかもしれませんが、困っていることがあれば一緒に考えていきたいと思っています。



母 親：ありがとうございます

相談員：こちらこそ、お話してくれてありがとうございます。
疲れなかったですか。

母 親：いいえ。

相談員：また、伺いますね。

母 親：わかりました。